

会津ぐるっとカード実証実験の概要 (平成15年7月～平成17年6月)

背景

会津地区については鶴ヶ城や野口英世記念館、大内宿などの観光資源がきわめて豊富であるが、広域的に分散しているため、公共交通機関を利用して観光する場合、運賃が割高になり、その情報提供も行き届いたものとなっていないことから、自家用車の利用率が約7割とかなり高い割合となっていた。

鉄道・バスを1枚のカードで自由に周遊できる乗車券を廉価に販売するとともに、公共交通の情報提供を充実させることにより、同地区の広域観光の移動手段を自家用車から公共交通機関に転換させるものである。

実験の概要

会津地域対象14市町村の電車・バスが2日間乗り放題になるカードの販売

カードの提示により観光施設や飲食店などでの割引特典を付加

カードの導入に合わせ、目的地等を入力するだけで利用交通機関・発車時刻が表示される「ルート自動生成システム」を導入



実験の途中経過

- 平成16年度のカードの販売実績は、大人5,200枚、小児145枚であった。
- 実験当初(平成15年度)は、対象エリアが13市町村であったが、平成16年度に1町新たに参加し、14市町村となり拡大した。
- カードの導入に合わせて平成15年10月より会津鉄道の「JR磐越西線喜多方駅までの乗り入れが実現した。(従来は会津若松駅まで)
- まちなか周遊バス「ハイカラさん」の大幅な増便が図られた。(新たな車両の導入により逆回りルートの設定)